

栗原の稲作通信

令和4年 第4号 令和4年7月5日発行

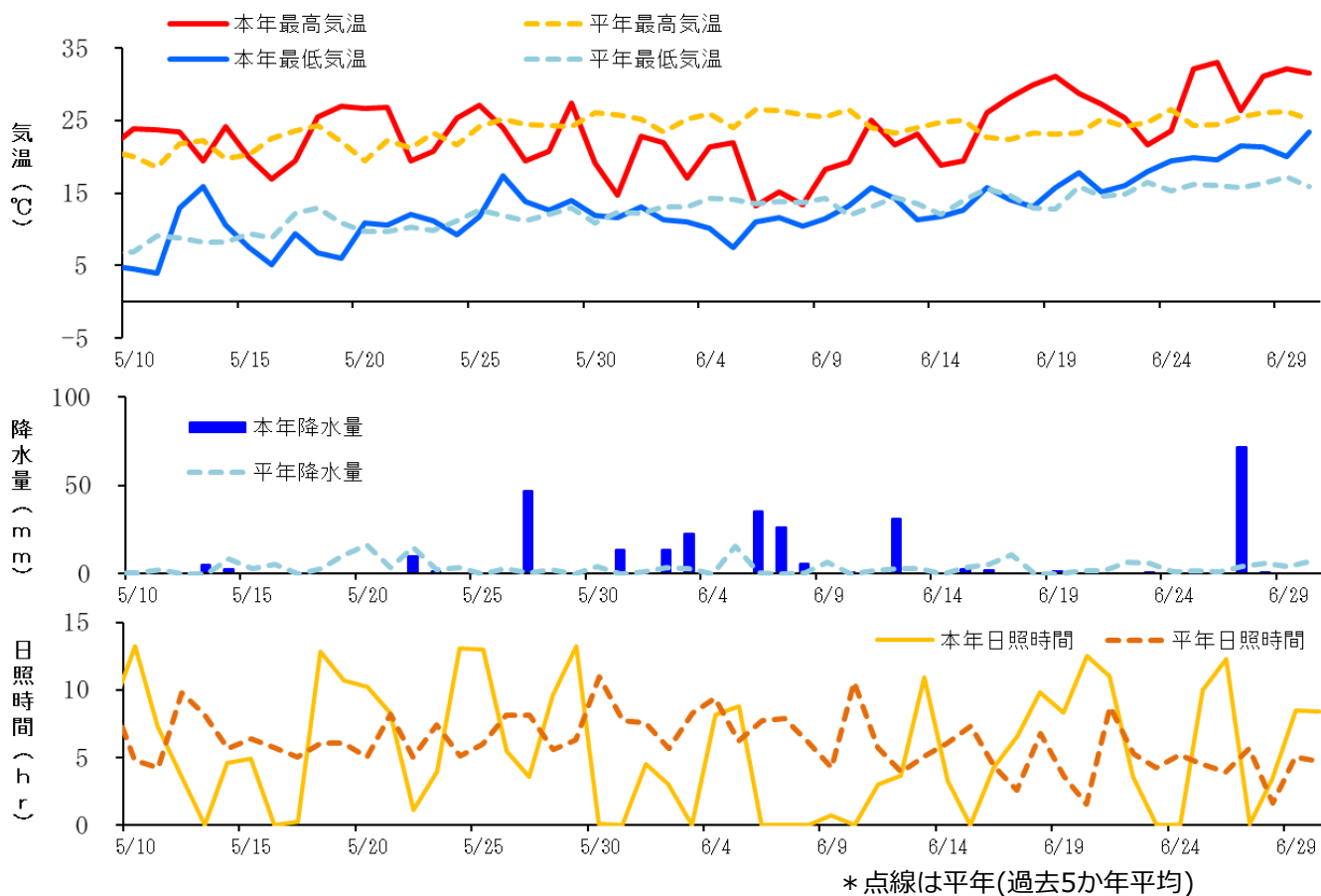
宮城県栗原農業改良普及センター
宮城県米づくり推進栗原地方本部
電話番号 0228-22-9404

品種や生育に合わせた追肥を行いましょう。

斑点米カメムシ類の本田への侵入を防ぐため、水田畦畔の草刈りは出穂10日前までに終わらせましょう。

気象経過（アメダス築館）

- 6月半ば以降の気温は平年より高く、特に梅雨明け後はかなり高く推移しました。
- 東北南部は6月29日ごろに梅雨明けしたと見られます。
(梅雨明け 平年7月24日ごろ、昨年7月16日ごろ)



東北地方1か月予報(期間:7/2~8/1)
※令和4年6月30日仙台管区气象台発表抜粋

予報のポイント

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。前線や湿った空気の影響を受けにくい時期があるため、向こう1か月の日照時間は平年並か多いでしょう。

予想される向こう1か月の天候(東北太平洋側)

平均気温: 高い見込み
降水量: ほぼ平年並の見込み
日照時間: 平年並か多い見込み

生育経過（7月1日現在）

■生育調査ほ（移植）

- ・生育調査ほ（ひとめぼれ）について、6月20日調査では、6月上旬の低温少照により草丈、莖数は平年より少なく、生育はやや遅れていましたが、7月1日調査では、6月半ば以降の高温多照により生育は平年並まで回復しています。

表1 生育調査ほ調査結果（7月1日現在）

品 種	地 区	田植日	草丈(cm)				莖数(本/m ²)			葉数(枚)			葉色(GM値)		
			本年	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	築館 北部平坦	5/14	54	94	100	651	111	106	10.5	0.8	0.2	42.7	2.6	2.6	
ひとめぼれ	若柳 北部平坦	5/20	58	109	114	716	108	99	9.3	-0.4	-0.7	44.8	1.1	-0.6	
ひとめぼれ	一迫 西部丘陵	5/12	49	101	-	361	66	-	10.2	0.9	-	44.9	4.3	-	
ひとめぼれ	管内平均	5/15	54	101	-	576	96	-	10.0	0.4	-	44.1	2.6	-	
ひとめぼれ	古川農試	5/10	52	95	112	688	111	110	9.5	-0.2	0.2	41.5	-0.7	-0.8	
ひとめぼれ	県平均	5/12	51	97	105	511	95	90	-	-	-	42.6	1.7	-0.1	
つや姫	築館 北部平坦	5/24	46	104	103	293	70	64	9.9	0.4	0.4	46.1	-2.8	-2.6	
だて正夢	築館 北部平坦	5/18	55	107	-	382	71	-	9.6	0.3	-	46.3	0.4	-	
金のいぶき	一迫 北部平坦	5/6	54	118	-	405	71	-	10.4	-	-	40.8	6.5	-	
萌えみのり	金成 北部平坦	5/19	47	86	93	256	48	50	9.0	-1.3	-1.0	49.1	0.3	0.5	

注1:平年値は過去5か年平均。

注2:一迫ひとめぼれ、築館だて正夢は、令和2年から調査農家変更のため、平年値はなし。

注3:金のいぶきは、令和3年から調査開始のため、平年値はなし。葉数は本年より調査開始。

注4:ひとめぼれの管内平均は、築館、若柳、一迫3か所の平均値。

■直播展示ほ（志波姫の乾田直播ひとめぼれ）

- ・生育は概ね順調に経過しています。

表2 直播普及展示ほ調査結果（7月1日現在）

品 種	播種日	草丈(cm)		莖数(本/m ²)		葉数(枚)		葉色(GM値)	
	本年	本年	本年	本年	本年	本年	本年		
ひとめぼれ	4月26日	37	306	7.8	39.7				

注1:乾田直播展示ほは、本年から調査開始のため、前年値及び平年値はなし。

今後の管理

■水管理

- ・中干しは、土の表面に軽くひびが入る程度を目安に、幼穂形成期までに終了しましょう。鉄コーティング湛水直播では、倒伏軽減のため強めに中干しを行いましょう。
- ・金のいぶきは、根が傷みやすいので強い中干しは避けましょう。
- ・中干し直後は走り水程度として、徐々に湛水状態に戻ましょう。その後は間断かん水を基本とします。
- ・幼穂形成期（幼穂長1～2 mm）から減数分裂期（幼穂長3～12 cm）にかけて、最低気温が17℃以下の日が続く場合は深水管理を行い、幼穂を保護ましょう。

■追肥

- ・幼穂長、生育量を把握して、品種毎に適期に適量の追肥を行いましょう。
- ・有機入り肥料を追肥に使う場合は、肥効が現れるまで時間がかかるので、早めに施用ましょう。
- ・一発型肥料を基肥に使用した場合は、基本的に追肥を控えましょう。

表3 追肥時期の生育量と追肥量の目安

*生育量の範囲内～下回る場合に追肥が可能です

品 種	幼穂形成期（幼穂長1～2mm）			減数分裂期（幼穂長3～12cm）		
	茎数 (本/㎡)	葉色 (葉緑素計)	追肥量 (窒素成分) (/10a)	茎数 (本/㎡)	葉色 (葉緑素計)	追肥量 (窒素成分) (/10a)
ひとめぼれ	470～530	38～40	1 kg	450～500	35～37	1 kg
ササニシキ	720～760	34～36	(しない)	550～580	32～34	1～1.5kg
つ や 姫	550～580	35～37	2kg	-	-	(しない)

★だて正夢の追肥量（窒素成分量/10 a）

- 基本は「**減数分裂期2 kg**」
- 茎数が不足する場合は、
「幼穂形成期1 kg + 減数分裂期1 kg」
- だて正夢は、ひとめぼれ等の他品種より茎数が少なく、葉色が濃くなる傾向にあります。生育量が表の目安を超えている場合を除いて、基本的に追肥を行いましょ。

表4 だて正夢の生育量の目安

項目	幼穂形成期	減数分裂期
草丈 (cm)	64～70	76～82
茎数 (本/㎡)	390～460	380～420
葉色 (葉緑素計)	40～42	37～39

★金のいぶきの追肥量（窒素成分量/10 a）

- 基本は「**幼穂形成期1 kg + 減数分裂期1 kg**」
- 金のいぶきの葉色は、ひとめぼれと比較して淡く推移し、幼穂形成期から減数分裂期にかけて、著しく低下します。安定した収量を確保するために、追肥を実施しましょ。

表5 金のいぶきの生育量の目安

項目	幼穂形成期	減数分裂期
草丈 (cm)	65～70	80～85
茎数 (本/㎡)	570～620	490～540
葉色 (葉緑素計)	33～35	30～32

■病害虫防除

～葉もち、イナゴ類の発生に注意しましょ～ ～草刈りを出穂10日前までに終えましょ～

*発生量および発生時期は、発生予報第4号（宮城県病害虫防除所・6/24発行）に基づいています。

▶葉もち……発生量「やや少」、発生時期（発生開始期）「7月第2半旬（平年並）」の予報

- 葉もちの初発は6月23日と推定されており、平年より早く確認されました。ほ場を入念に見回り、病斑を確認したら直ちに防除しましょ！
- 特に、萌えみのり、金のいぶきなどのもち病に弱い品種や、予防防除を行っていない直播栽培などでは注意しましょ。
- 葉もちが確認された場合は防除しましょ。特に、穂もちの伝染源となる上位葉での感染には注意が必要です。

▶紋枯病……発生量「平年並」の予報

- 要防除水準を超えた場合は、穂ばらみ期から穂揃期に防除を行いましょ。
要防除水準：穂ばらみ期の発病株率 ひとめぼれ18%
- 高温多湿で発生しやすく、前年多発したほ場では、注意が必要です。

▶稲こうじ病……発生量「やや少」の予報

- 穂ばらみ期に低温で降雨日数が多いと発生しやすくなります。
- 銅剤による防除適期は、出穂10～20日前です。

▶斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ）

……発生量「やや少」、発生時期（第1世代成虫発生盛期）「7月第4半旬（平年並）」の予報

- 畦畔の草刈りや牧草の刈取りは、出穂の10日前（遅くとも7月25日頃）までには終わらせましょう。出穂直前の草刈りは、斑点米カメムシを水田に追い込むことになるので避けましょう。
- 薬剤防除は「穂揃期＋その7～10日後」の2回防除が基本です。イヌホタルイが発生している水田では、1回目の薬剤散布時期を「出穂始から穂揃期」に早めることで、高い防除効果が得られます。

▶イナゴ類（コバネイナゴ）

……発生量「平年並」、発生時期（本田侵入盛期）「7月第3半旬（平年並）」の予報

- 齢が進んだ個体には薬剤の効果が低下するので、中齢幼虫（体調1.5 cm程度）までに散布しましょう。

.....

■農薬危害防止運動実施中 実施期間 6月1日～8月31日

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限等を確認して、定められた方法を厳守しましょう。

最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターのホームページで確認することができます。

.....